

令和6年度 (2024年度)	総合政策部の取り組み
<部長の方針・考え方> 市民満足度の向上、持続可能なまちの発展をめざし、これまで取り組んできた「ひらかた万博」の取り組みを開花させるとともに、徹底した行財政改革、デジタル技術の活用など新たな手法による施策展開、スマート自治体の実現に向けた施策展開に取り組めます。 これら取り組みを推進していくため、常に市民の立場に立って考えることを大切にするとともに、密な連携と明るい対話によりチーム力を高めます。 ①市民目線での課題解決、市民満足度の向上を常に意識し、各部と共に考え、共に前進 ②複雑、多様化するニーズに対応する施策展開 ③既存の枠に捉われない徹底した行財政改革 ④DXの推進、スマート自治体の実現に向けたICT施策の展開 ⑤効果的な予算編成と健全な行財政運営への取り組み ⑥市民サービスの向上と行政課題の解決に向けた公民連携の推進	
<部の構成> 企画課 政策推進課 財政課 行革推進課 DX推進課	<主な担当事務> (1)市の政策、予算の編成、財政に係る事務 (2)2025大阪・関西万博に関連する事務 (3)公民連携に関する事務 (4)行政評価・行政改革に係る事務 (5)DX推進に係る事務

重点的な取り組み：「ひらかた万博」の推進

【施策シート：19—02】

2025年大阪・関西万博を契機にした「ひらかた万博」の取り組みにおいて、地域経済の活性化やまちへの愛着向上を目的に、国内外から多くの観光客を効果的に誘客する観点から本市の魅力的な地域資源等の情報を発信するプロモーションイベントを実施するとともに、市域一円に「ひらかた万博パビリオン事業」を展開させ、本市を訪れる観光客が地域のイベントなどで市民の日常を体験できる空間づくりにも取り組みます。さらに、本市の東部地域を始めとした質の高い観光コンテンツづくりや新たな特産品の開発などビジネスの創出にも取り組み、持続的な産業の発展を図ります。

また、開催まで約1年後となる大阪・関西万博に対する取り組みにおいては、次代を担う子どもたちへ将来に向けて夢や希望を育む場をより多く提供できるよう、大阪府の取り組みに加え、本市においても子どもの万博会場への無料招待を実施し、来場予約等の受付を開始します。さらに、万博会場において、本市の魅力や歴史・文化を来場者に効果的に伝え、本市への誘客につなげる催事の出展に取り組めます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
本市への訪日外国人旅行者数	35,000人	—

重点的な取り組み：枚方市駅周辺再整備に合わせたスマートシティ化の推進

【施策シート：18—01】

枚方市駅周辺再整備に合わせたスマートシティに向けた取り組みとして、段階的な市域全体への波及を見据えつつ、ICTやIoT、AIなどの様々な先進的技術の導入により、利便性や安全性など市民生活の向上と地域課題の解決につながるスマートサービスの導入について検討を進めます。

今年度は、ひらかた万博のプロモーションイベントにおいてグリーンスローモビリティの実証実験を行うとともに先進的技術を持つ事業者との対話を進めながら、公民連携でスマートサービスの検証を行うなど導入に向けた可能性検討を進めます。また、先進都市の事例を踏まえ、サービスを展開する民間事業者が継続的に参画する仕組みづくりと市域において持続的にサービス展開を行うための組織体として、産学官によるスマートシティ推進協議会の組織化に向けた検討を進めます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
スマートサービス導入の可能性検証の件数（累計）	6件	3件実施 （令和5年度末で累計4件）

重点的な取り組み：行政課題の解決につなげる公民連携の推進

【施策シート：31—01】

多様化する行政課題の解決に繋げるため、公民連携プラットフォームを通じた事業提案により公民連携を促進させるとともに、先進事例の共有等を図り効果的に連携を進めるため、外部講師を招いた公民連携ワークショップを実施します。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
公民連携事業の実施件数	20件	22件
公民連携を通じて行政の課題解決につながった件数	5件	13件

重点的な取り組み：第3期実行計画等に掲げる取り組みの推進

【施策シート：31—01】

令和6年度を始期とする第5次総合計画基本計画を推進するための第3期実行計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）、行財政改革プラン2024、第2次情報化計画情報化基本計画（第3期取組版）の目標達成に向けて、各計画に掲げる様々な取り組みを着実に推進するため、庁内連携による事業構築や事業推進などの調整を行うとともに、進捗管理や施策評価の結果を改善へとつなげ、より円滑・効果的な推進を図ります。

また、まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）に掲げる若者世代の転入超過や定住促進の目標達成に向けては、転入・転出者へのアンケート調査の実施など情報収集に努めるとともに、定住意向に影響するニーズなどを分析し、効果的な事業構築やプロモーションを行います。現時点では、通学・勤務先への近さが、定住先の選択においてニーズが高いと分析していることから、本市もしくは近隣の事業所の社員等が本市を定住先として選択していただけるよう、ターゲットを定めアプローチを進めます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
子育て世帯の転入超過	500 世帯	258 世帯

重点的な取り組み：デジタル技術を活用したスマート自治体の推進

【施策シート：29—02】

行政サービスの各手続きにおいて、市民が窓口に来庁しなくても手続きが行えるよう、電子申請の対象手続きの更なる拡充や、より容易に業務アプリ等の構築が可能な、ノーコード・ローコードツールの活用など、デジタル技術の積極的な活用によるスマート自治体を推進します。

これらの取り組みにより、市民への利便性の向上や業務の効率化を図ります。また、住民基本台帳や国民健康保険など基幹系の業務システムにおける、システムの標準化・共通化については、各業務所管部署との調整や、各システムが共通的に利用する基盤や機能を整備するなど、令和7年度末までに円滑な移行が行えるよう取り組みを進めます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
年間1000件以上の手続きを中心に、電子申請対応手続きの拡充	179 手続き	62 手続き

重点的な取り組み：窓口業務オンライン化の推進

【施策シート：29—02】

③街区の枚方市駅市民窓口センターのオープンに向けて、リモート相談・手続きブースの設置や電子申請サポート、キオスク端末を利用した各種証明発行への対応など、デジタル技術を活用した窓口のオンライン化を推進します。

また、枚方市駅市民窓口センターでは、複数の手続きがワンストップで行えるよう、取り組みを進めていますが、ワンストップ窓口においては、「書かない・待たない・回らない」窓口の実現により、複数の手続きにおいて申請書の記入が不要となるなど、手続きに来られる市民への負担軽減を図ります。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
遠隔窓口システムで対応可能な相談等の手続き数	55 手続き	49 手続き

重点的な取り組み：公共施設マネジメントの推進

【施策シート：31—03】

公共施設の長寿命化を計画的に実施し、あわせて施設総量の最適化を図ることにより、財政負担を平準化し持続可能な施設運営を行うため、引き続き「枚方市公共施設マネジメント推進計画」に基づき取り組みを進めます。同計画は令和8年度までを計画期間としていることから、令和9

年度の改訂に向け、施設の「複合化」「集約化」などを適切に進めることのできる実効性のある施設評価手法や、公共施設の適正配置の在り方について将来ビジョンを含めた検討を行います。

また、高陵小学校と中宮北小学校の統合に伴う旧中宮北小学校（現禁野小学校）跡地の活用については、引き続き、施設総量の最適化の観点も踏まえたうえで、具体的な活用策について関係部署や地域との協議を進めます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
市民一人当たりの延床面積	1.9 m ²	1.9 m ²

重点的な取り組み：計画的な財政運営

【施策シート：31—01】

将来に向けて安定した財政運営を維持するため、子育て世帯をターゲットにした施策のより一層の充実に向けた取り組みや枚方市駅周辺の再整備をはじめとする本市の重点事業について、その実現可能性を検証するなど、長期的な視点による財政状況の把握に努めます。

また、予算編成において、限られた財源を効果的に配分していくとともに、社会経済情勢の変化に柔軟に対応できるより強固な財政基盤の確立を目指します。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
健全化判断比率	実質赤字比率：なし 連結実質赤字比率：なし 実質公債費比率：1.7%以下 将来負担比率：なし	実質赤字比率：なし 連結実質赤字比率：なし 実質公債費比率：0.6% 将来負担比率：なし